

生産性向上 & 働き方改革

～受注が1.5倍になっても人手を増やさずやりきれた！
その方法とは～

株式会社BAISOKU

©BAISOKU Corporation All rights reserved

中小企業を取り巻く課題

働き方改革

残業はダメ！

人材不足

労働人口減少・採用難

コストの上昇

最低賃金・保険料等

労働時間短縮しても売上確保

人材流動活性化しても会社維持

賃金アップしても利益確保

政府も中小企業の働き方改革を推進

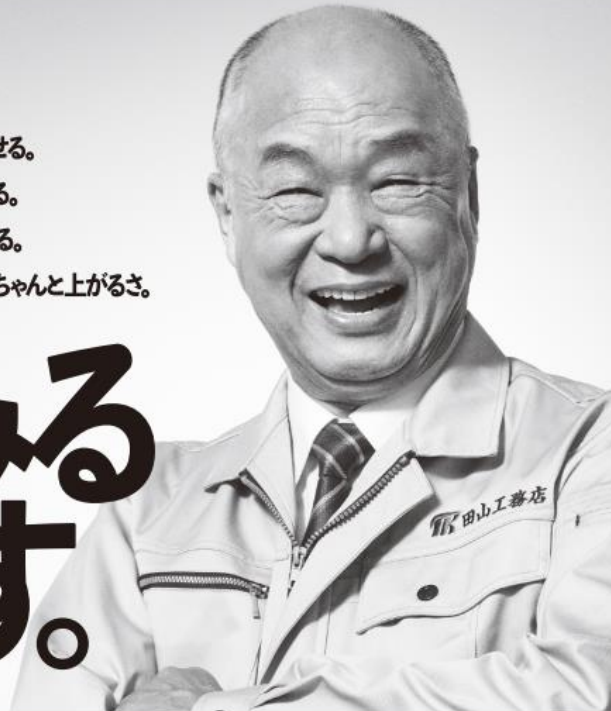
ひと、暮らし、みらいのために



政府広報 | 厚生労働省・中小企業庁

ちゃんと有給取らせてあげれば、仕事の配分が見直せる。
ちゃんと残業管理してみたら、業務のムダが見えてくる。
ちゃんと待遇を良くすれば、社員のやる気も湧いてくる。
そうしたら、ちゃんと業績も良くなって、社長の株も、ちゃんと上がるさ。

やってみる もんです。



中小企業も! 働き方改革

— 2019年4月1日より順次施行 —

1 有給休暇年5日取得
2019年4月1日より施行

2 時間外労働の上限
中小企業は、2020年4月1日より施行

3 同一労働同一賃金
中小企業は、2021年4月1日より施行
※労働者派遣法は2020年4月1日より施行

業種ごとの取組事例や助成金・補助金などの支援策、相談窓口など、
詳しくは [やってみるもんです 政府広報](#) [検索](#)



そうは言っても、ウチには難しい話だな…。

うちの業務は特別。
システム化なんて
できないよ…。

社内にITがわかる
社員がいないし、
忙しくて…。

ITシステムって高い
んでしょ、とてもそん
な予算ないよ…。

そんなことはありません！

**ITシステム化にとりくまれた製造業様
の成功例をご紹介します**

きっかけ・ITシステム化 以前の課題

- 受発注用のITツール（Access）をつくった担当者が退職の際、**引き継ぎがうまくできずに、使いつづけることができなくなった**
- しばらくは、Excelで代用していたが、ファイルの共有・管理ができず、**結果的に、担当者個人個人が仕事を抱えることに**
- 市販の汎用パッケージソフトを導入したが、**工場の業務をITシステム化することはできないことが判明**
- 何社かにITシステム開発の見積りを依頼したところ、**3～5千万円の開発費、しかも1年以上かかる**

これらを解決するには・・・



自社のやり方に合うシステム

誰でも使えるシステム

予算にあうシステム

が必要だ！



一般的なITシステム開発



BAISOKUのITシステム



まず試作を使ってみて
何度でも修正!

ここまで
6か月

時間がかかれば
お金もかかる...

1年以上
かかることも!

時間も
コストも

1/3

BAISOKU流 ITシステムができるまで

- 週1回のミーティングで現状のヒアリングと、ITシステム化する範囲の洗い出し
- 今使っているエクセルや、手書きの帳簿、過去のAccessのデータをお預かりして、業務の流れを図式化&見える化
- その後、試作版をつくってお見せして、実際にシステムをさわって、動かしてもらいながら、業務で使うのに問題ないか確認
- 打合せ&微調整を繰り返しながら仕上げていく

(開発期間正味3ヵ月)

- 本番稼働後も、業務の変化や進化に合わせて微調整をし続ける

実際にやってみた結果

具体的な効果例（1）

Before

- ① 受注情報は紙やFAXで配布
変更の度に周知徹底がたいへん
- ② 発注作業は担当者が各々個別に
発注するため、月末に請求書が
締まるまでその月の仕入高が不明
- ③ 部署ごとに、ダブって発注する
ことも…。



受発注管理

After

- ITシステム上に公開。リアルタイム
で情報を共有できるように
- 発注はITシステムから、に統一。
仕入もシステムに入力することで
日次決算が可能に。
- 発注量の見える化で
発注忘れを防止。適正発注が
できるようになった



受発注作業にかかわるムダ・ムリ・ムラを排除

具体的な効果例 (2)

Before

- ④ 仕入先様・配送業者などに生産計画表や出荷報告をFAXや紙で配布していた
- ⑤ とくに出荷報告は配送業者に機体チェックシートを配布し、記入してもらい、再度入力するという煩雑な作業が生じていた
- ⑥ 上記作業の専任の担当者が休めなかった

公開機能

After

- システム上に、関係業者様が閲覧できるページを用意IDを配布して、リアルタイムで情報を共有できるように
- 機体チェックシートの発行も自動化し、誰でもできるように
- 「いつ」「誰が」「どの機体を」の管理が簡単にできるようになった



仕入先様・配送業者もまきこんだサプライチェーンマネジメントを実現



具体的な効果例 (3)

Before

- ⑦月の受注数に波があり、
適正在庫数の把握が困難
- ⑧常に余裕のある発注をするため
過剰在庫を抱えてしまう
- ⑨発注担当者しか納品予定日が
わからない (現場はつど確認)



在庫管理

After

- 部品点数が多いため、
全製品をBOM (部品表) 化
- 生産計画に対し、3カ月先まで
各部品の月ごとの必要数を
把握することが可能に
- システム上に納品予定日が
すぐに反映されるため、
現場からの確認作業もスムーズに



余剰在庫が減る = 工場経営の流動的な資金が増え、設備投資が可能に

具体的な効果例 (4)

Before (あれどうなった?)



- 電話やFAXの問合せに忙殺
- 製品単価・原価の把握はアバウト
- 棚卸するまで在庫数がわからない
- あのエクセル変更したの誰だ？
- 月締めの確認作業がたいへん！
- 数字が合わない！
- エクセルの山に時間を奪われる！

その他

※お客様実施
アンケート結果より

After (システムを見ればわかる)

- 電話&FAXが激減
- 数字の把握が正確になった
- 在庫管理も楽に、適正発注数も把握しやすくなった
- 最終更新者と日時が明確になった
- 発注残のリスト化で楽々確認
- エクセル自体を使わなくなった



作業に追われることがなくなった。休めるようになった。

自社に合ったITシステムで実現したこと

生産性向上

見える化

業務効率改善

「いつ・誰が・誰に・何を・
いくつ・いくらで・どのように・
なぜ (6W2H)」
をリアルタイムで共有

在庫管理

在庫の削減
適正在庫化

自社にあった
ITシステム開発

情報共有

関係会社もつないだ
リアルタイム情報共有 その結果として・・・

働き方改革
(制度)対応

残業管理、就業時間管理
有給休暇管理、等

24ヶ月の受注数推移

【管理図/生産指示書/品目G/数量】

2017年4月～2019年3月（24ヵ月）（単位:台数） □印刷用

品目G	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	19年1月	19年2月	19年3月	合計	比率	平均	標準偏差	LCL	UCL
【合計】	1,583	1,714	2,045	1,912	2,097	2,091	1,923	2,080	2,160	2,388	2,323	2,314	2,387	2,388	2,567	2,319	2,466	2,069	2,370	2,510	2,529	53,307	100.0%	2,221	258	1,891	2,551			
	1,077	1,242	1,178	1,184	1,299	1,306	1,213	1,235	1,381	1,577	1,527	1,577	1,469	1,262	1,492	1,617	1,619	34,060	63.9%	1,419	171	1,200	1,638							
	332	279	368	414	364	402	371	383	362	432	449	449	449	498	483	468	10,017	18.8%	417	58	343	492								
	85	95	98	117	132	126	154	150	146	110	110	110	110	148	143	152	3,165	5.9%	132	25	100	164								
	89	98	401	197	302	257	185	312	271	271	271	271	271	271	271	271	6,065	11.4%	252	72	161	345								

受注台数
1.59倍!



**「受注（生産）が1.5倍になっても
仕事を断ることなくやりきれた」**

「IT投資は回収できた！」



繰り返しますが、

自社のやり方に合う

予算に合う

誰でも使える

ITシステム

があれば...

実現
可能

労働時間短縮しても売上確保

人材流動活性化しても会社維持

賃金アップしても利益確保



まとめると・・・

これからの中小企業の働き方

各人(各社)が抱えるさまざまな業務をシームレスにつないで自動化
→会社の「**動力（エンジン）**」に、**ITシステムを据える**

自社に合ったITシステムをつくる

「試作」をベースに、1社1社の業務内容に合わせてフルカスタマイズ
何度でも修正できるから**自社に本当にあったシステム**が仕上がります

ITシステム費用は人件費より安い時代です

クラウドの仕組みや、開発技術の進化、長年のノウハウにより、
初期投資をおさえて会社全体の戦力となるシステムを制作します

BAISOKUの想い

令和の時代、よき経営のために
ITの力をプラスすれば、
会社の強みを **“圧倒的強み”** にすることができます。

そこで働く人全員の、**物心両面の成功**を
ITの力でご支援したい
というのが、BAISOKUの想いです。



ITシステムの力をうまく活用し、

貴社の

生産性向上

&

利益アップ

に

お役立てください

● Memo

貴社の強みを
"圧倒的強み"に変える
「デジタルシフト」を
ご支援します！

株式会社 **BAISOKU**

お問合せ等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

株式会社 BAISOKU (バイソク)

〒176-0023 東京都練馬区中村北2-20-11 ソフィア中村橋2F

TEL : **03-6907-3904**

<https://baisoku.co.jp> E-mail: info@baisoku.co.jp

